

フェルトダンプ LAN 端子の効果(1)(HP 収載) ースイッチングハブー

1. 始めに

インフラノイズのホームページで紹介のあった非売品のフェルトダンプ LAN 端子を感想文の景品として入手しましたので、その効果を検討します。

2. フェルトダンプ LAN 端子の試聴計画

対象とする LAN ポートは、スイッチングハブとルーターですが、今回はスイッチングハブに適用してみます。

現在、スイッチングハブの LAN ポートは 8 箇所ありますが、次のようにすべて使用されています。なお、スイッチングハブの LAN ポートは STP 対応です。

ルーターからの入力 LAN リベラメンテケーブル (UTP)

PC への出力 LAN リベラメンテケーブル (UTP)

Sonica DAC への出力 LAN リベラメンテケーブル (UTP)

DMR-UBZ1 への出力 LAN リベラメンテケーブル (UTP)

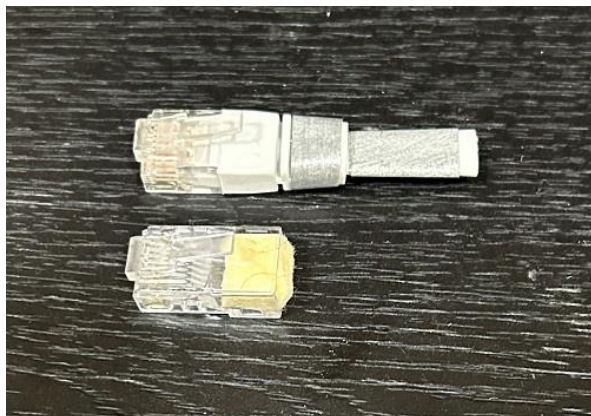
fidata HFAS1-S10 への出力テレガートナー LAN ケーブル (STP)

仮想アース Crystal EpL (STP)

LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたもの (UTP)

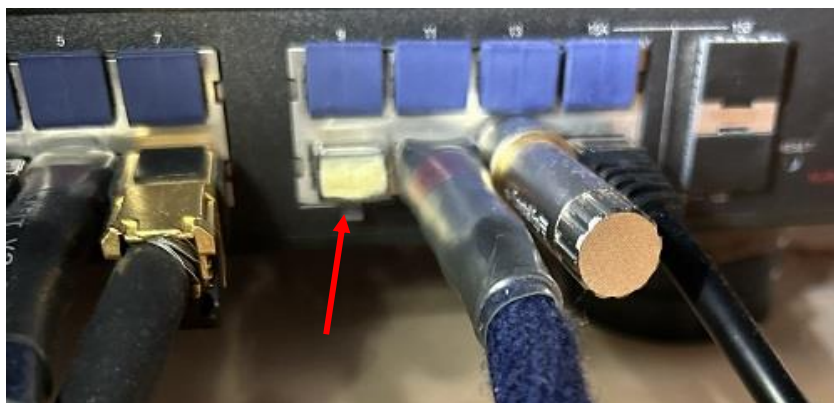
LAN の延長ユニットに Pulshut を巻いたもの (STP)

上記の LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたものと LAN の延長ユニットに Pulshut を巻いたものは、ノイズを低減する効果を狙ったものです。今回は LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたもの (写真上) をフェルトダンプ LAN 端子 (写真下) に替えてみます。これらはともに UTP 仕様です。



以上の処置は、LAN 端子に漏れ出してくるノイズ低減効果を狙ったものから、フェ

ルトによる微振動抑制を狙ったものへの変更となります。



試聴する音源は次のとおりです。

STAGE+

ベートーヴェン ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ (ピアノ)

バッハ クリスマスオラトリオ

エリ奥特・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスト

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ (ヴァイオリン) 他

バッハ 無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

3. フェルトダンブ LAN 端子の試聴結果

始めに現状で聴いておき、フェルトダンブ LAN 端子に交換して聴き直していきましたが、基本的にはそれらしい音の変化はありませんでした。

スイッチングハブのすべての LAN ポートに空き端子がなく、スイッチングハブの LAN ポートは STP 仕様であり、すでに STP タイプの LAN 端子を有するものも差し込まれていて振動が抑制されているためと思われます。

このものは、Buffalo 製で、業務用をオーディオ用に改造したもので、筐体もしっかりしており、インシュレーターを追加するなどの振動対策も行っています。

STP と UTP についてはオーディオ資料室の [LAN ポート規格](#) を参照していただきたいのですが、STP の場合は、ポートの両サイドにバネ状の接触板があつて端子側と密着するようになっています。

また、LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたものがなくなっても、ノイズ対策の Crystal EpL と LAN の延長ユニットに Pulshut を巻いたものが残っていますので、さほど問題はなかったものと思われます。

以上から、どうやらフェルトダンプ LAN 端子の効果は、LAN ポートに空きがある場合に有効なようです。

4. まとめ

LAN ケーブルを切って Pulshut を巻いたものをフェルトダンプ LAN 端子に替えてみましたが、音質の変化を感じ取ることはできませんでした。

以上